



主催: 学校法人 東海医療学園

創立 60 周年記念事業 市民公開講演

統合医療と自然欠乏症候群

WELLNESS UNION

(朝霧高原診療所・富士山静養園・日月倶楽部)

山本竜隆

統合医療というと、一般的に癌などの難病を、現代西洋医学以外と、さまざまな医療を集結して、個々に合わせてコーディネートする医療と認識されていることが多いと思う。しかし統合医療には、予防や養生医療、そして社会医学や環境医学なども含まれる。

既に欧州の田舎では、地域医療と自然環境を活かした地域密着型の統合医療モデルが存在するが、医療過疎問題がある本邦における良いお手本ではないか考えている。そして現在、田舎型統合医療を目指し、朝霧高原で活動している。

さて統合医療を提唱するアンドルー・ワイル博士が述べる「統合医療の定義」の一つには、以下のようなものがある。“統合医療は「病気」と「治療」ではなく、「健康」と「治癒・養生」に医療の力点を置く。患者を「故障した機械」としてではなく、「精神的・感情的・霊的な実在」として、また「コミュニティの一員」として、全人的に診る。検査結果の数値だけではなく、患者の「ライフスタイル」を診る。患者の他者との「人間関係」のありかたをはじめ、自然・社会・世界・神などの超越的存在・担当医との関係など、あらゆる「関係性」を重視する。”

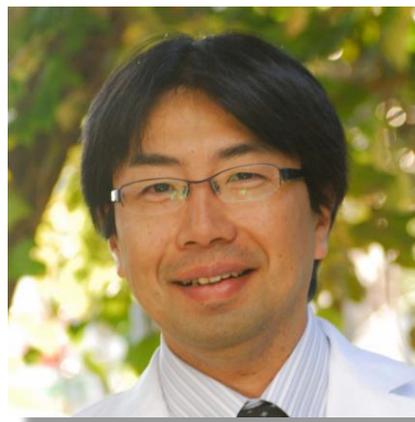
医療には「医学モデル」と「社会モデル」が存在するが、本邦は「医学モデル」を中心に発展してきたと思う。しかし次世代に向けた「地域包括ケアシステム」では、この両者をバランス良く含み、地域性を考慮することが望まれている。これはまさに広義の統合医療と言っても過言ではない。今回、私は、このような広義の統合医療の可能性について述べると共に、米国で注目されつつある「自然欠乏障害（自然欠乏症候群）」についても触れてお話しさせていただく。

山本竜隆先生のプロフィール

医師・医学博士

朝霧高原診療所 院長

WELLNESS UNION（富士山静養園・日月倶楽部）代表



聖マリアンナ医科大学、昭和大学医学部大学院卒業

内科研修、医学研究の後、アンドルー・ワイル主催の

米国アリゾナ大学医学部統合医療プログラム

Associate Fellow（2000年～2002年）をアジアで初

めて修了その後、統合医療ビレッジグループ総院長（東京・四谷）、JA 中伊豆温泉病院内科
医長、（株）小糸製作所静岡工場診療所所長・統括産業医などを経て現職

自ら湧き水や薪での生活を送りつつ、単に西洋医学と代替医療を統合するという枠組みを
超え、地域創生や自然環境を活かす活動、ヘルスツーリズムも含めた統合医療や地域医療活
動を実践する。

リトリートの「富士山静養園」では自然欠乏症候群のセミナーや自然療法分野の合宿を行い、
富士山麓の滞在施設「日月倶楽部」では、ヨガや瞑想などのマインドフルネスをはじめ、企
業の健康管理者への指導など、雄大な自然環境に身を置いて行う各種滞在プログラムを提
供している。

【役職ほか】

日本東方医学会 学術委員・中医専門医

日本人間ドック学会 認定専門医、日本医師会認定 産業医

日本統合医療学会 指導医

日本ホリスティック医学協会 理事、日本メディカルハーブ協会 理事

日本東洋医学会 認定専門医、日本ホメオパシー医学会 認定医

日本リラクゼーション業協会 顧問医師 など

【主な一般著書（共著含む）】

統合医療運営マニュアル/現代企画

治る力を呼びさます・統合医療のすすめ/東京堂出版

イタリアン・テルメ/エルゼビアジャパン

統合医療とは何か？が、わかる本/ほんの木

食べもので「体の不調」を治す本/アスコム

自然欠乏症候群/ワニブックスなど

